
熱

上月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

熱

【Nコード】

N7518D

【作者名】

上月

【あらすじ】

理性を掻き戻すには、手遅れだった。

囁かれるたびに、空気になる。ふっと身構えて、それから肩透かしを喰らったように右から左へ、聴こえない声が抜けていく。さらさらと、直接肌に触れてくる滑らかなシルクのシーツのように、彼は痛すぎるほどきれいで、浅い。

「トーコ」

「やだ、眠い」

カーテンの隙間から覗く空はまだ白んでない。携帯電話で時間を確認すると、まだ早朝の四時。甘えるような声を出しながら擦り寄ってくる哲が煩わしくて、思わず彼に背を向けて空寝をした。それでも懲りない哲は、わたしの背中を覆うようにぴつとりと抱きついて、体を弄るまさぐるように手を這わせてくる。何発やれば気が済むの、と罵ってやるうかと思ったが、それより先に手が勝手に動いた。ぐつと、彼の手の甲の皮をつまんで力いっぱい捻る。すると、後ろから観念したように「いたい、いたい」という声が返ってきて、わたしはにんまりとしたり顔を浮かべた。

男の人の厚い胸板は、どうしてこうも安心するのか。お互いの呼吸に呼応するように、同じタイミングで息を吸い、そしてゆっくりと吐く。髪にかかる彼の息がくすぐったくて、心地よい。先ほどの彼の行為のせいか、眠さは吹き飛んで、目はしっかりと冴えてしまった。お陰でいつもよりも、感覚という感覚が敏感で、肌に触れるもの全てにいちいち反応してしまう。

目の奥がぐつと押されたように痛むほど、白すぎるこの室内は、情事を繰り返すたびに不釣り合いな場所だなと思う。きれい好きの哲は、ごく当たり前のように白いものばかりを好んで買う。そのせいで、知らない間に色んなものが白色で揃えられてしまっていた。物足りなさを超えて、寂しさが部屋の中を覆っているような気がして、

時折無性に心細くなることがあった。

「ねえ、哲」

「何？」

「哲って潔癖症？」

「まさか。いくらきれい好きだからって、俺そこまで重症じゃないよ」

くすくすと笑う彼の振動が、背中から全身へ伝わってくる。そうか、そうよね、と適当に返事をしてから、わたしは寝返りをうつて彼の方を向いた。すぐに彼の手が伸びてきて、頭皮をやわらかく刺激するように、髪に触れてくる。それが気持ちよくて、わたしは浅く目を閉じてから、滑らかなシーツの感触を楽しむように、脚を小刻みに動かして笑う。わたしの脚に、今度は彼の脚が絡まってきて、あたたかな体温が直接伝わった。

「白、好き？」

わたしも、彼の体温を貪るように、密着するように脚を自ら絡ませる。

「好き。だってきれいじゃん。なんか無になるって感じ」

「あ、今ちよつとかっこつけたでしょ」

「ばれた？」

「ばればれ。哲には似合わないもの、そんな気取った台詞」

ひでえ、と声を上げながら、哲はわたしの首筋に顔を埋めた。すぐさまちくりとした、小さな痛みが襲ってきて、ああ、痕つけられたな、と苦笑する。彼の髪に指を差し込んで、わしゃわしゃと撫で回すと、やめろって、と笑いながら哲が首筋に唇を寄せたまま抗議した。その息が、湿っぽくて、熱くて、ぞくぞくと体全体が性感帯にでもなったように、鳥肌が立った。

「んじゃ俺、紳士気取るのやめていい？」

「別に」

「それじゃあ」

急に哲は起き上がると、覆いかぶさるように、わたしの顔の横に

両手をついて、にやりと笑った。彼の後ろに見える真っ白な天井と、それに同化してしまいそうなくらい白い彼の肌に、体内から熱が湧き出てくる。

張った乳房に彼の手が触れたときにはもう、理性を掻き戻すには、手遅れだった。

- - - 了

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7518d/>

熱

2011年1月28日02時45分発行